

---

**インベスコ・アセット・マネジメント株式会社****機構改革・人事異動に関するお知らせ****資産運用研究所を新設し、荻島誠治氏が資産運用研究所長に就任  
日本の投資家全体に向けた資産運用に関する情報発信を強化**

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（東京都港区、代表取締役社長兼 CEO 佐藤秀樹）は、2026年4月1日付で荻島誠治氏を迎え入れるとともに、日本の投資家全体に向けた資産運用に関する情報発信を強化することを目的に2026年5月1日付で「資産運用研究所」を新設し、荻島氏を資産運用研究所長として任命することを予定していますので、お知らせいたします。

荻島氏は、1991年野村総合研究所入社後、主に機関投資家向けのアドバイザーや運用評価の専門家として一貫して、資産運用にかかわる業務に従事され、年金基金のアセットアロケーション、フィデューシャリー・マネジメント、OCIO サービスにおける業界パイオニアとして認知されています。公的機関や機関投資家、監督官庁へのアドバイザー実績を有し、多数の著書もあり、受賞歴のある研究者として国内外の業界カンファレンスへの登壇やメディアへの出演を行い、資産運用に関する啓蒙活動にも従事されてきました。直近は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社取締役会長を務めておられました。

今回新設となる本役職では、荻島氏が主に活動されてきた年金基金、機関投資家向けの資金運用に関するコンサルティング・情報発信に加え、NISA で資産運用が浸透する個人も含めた日本の投資家全体に向けて資産運用に関する当社の情報発信を強化し、日本人が投資でより豊かな社会を実現するために貢献することを目指します。

**<代表取締役社長兼 CEO 佐藤秀樹のコメント>**

「資産運用研究所を新設し、荻島氏が資産運用研究所長として当社の一員となることを大変誇らしく思います。国を挙げて資産運用立国に取り組む中で、NISA で資産運用が浸透し始めた個人へはもとより、年金基金および機関投資家に向けても資金運用に関する情報発信・提供を行うことで、日本の投資家全体に向けた当社からの情報発信を強化し、日本人が投資でより豊かな社会を実現するための様々な取り組みをご提供して参りたいと考えています。」

**<荻島誠治氏のコメント>**

「インベスコという独立系のグローバルな資産運用会社に入ることで、日本の資産運用業界における私のこれまでの経験を活かしながら、グローバルな見地・情報を活かし、従来以上に日本の投資家の方々にとってお役に立つ資産運用に関する情報発信・啓蒙活動を行ってまいります。」

【人事異動予定：2026年5月1日】

役職名	氏名	旧役職名
マネジング・ディレクター 資産運用研究所長	荻島 誠治	—

以上

【略歴】 役職は2026年5月1日就任予定日のものを記載

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

マネジング・ディレクター 資産運用研究所長

氏名： 荻島 誠治（おぎしま せいじ）

職歴：

1991年野村総合研究所入社後、クオンツアナリストとして活躍。年金資金運用研究センター（現年金シニアプラン総合研究機構）常勤研究員、米国UCLA大学院客員研究員、野村証券金融経済研究所の資産運用ソリューショングループリーダーを経て、2007年より野村証券フィデューシャリー・サービス研究センターフィデューシャリー・マネジメント部長。2020年にコンテンツ・カンパニーのCIO（Chief Investment Office）グループリーダーを兼務。2021年12月野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社代表取締役社長就任、2025年4月同社取締役会長に就任。2026年4月1日にインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にマネジング・ディレクターとして入社、2026年5月1日より資産運用研究所長就任予定。

1993年証券アナリストジャーナル賞受賞。年金シニアプラン総合研究機構・編集委員および評議員、日本証券アナリスト協会・セミナー企画委員等を務めてきました。

著書（共著）には、『新・証券投資論 実務篇』（日本経済新聞出版）、『年金運用への挑戦』（日本経済新聞出版）、『変革迫られる年金運用——マイナス金利の影響』（日本経済新聞出版）、『株式運用と投資戦略』（金融財政事情研究会）等がある。

1991年慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。

日本証券アナリスト協会認定アナリスト（CMA）。

## インベスコについて

インベスコ・リミテッド（以下、「インベスコ」）は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家などの顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界 20 カ国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています（証券コード：IVZ）。インベスコに関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)（英語）で入手することができます。

## インベスコ・アセット・マネジメント株式会社について

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社インベスコの日本拠点です。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)で入手することができます。

## その他の留意事項

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が組織変更・異動についてお伝えすることのみを目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。

投資信託は、主として国内外の株式や公社債などの値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより投資一単位当たりの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧いただき内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 306 号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

---

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
〒106-6114  
東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
六本木ヒルズ森タワー 14 階  
Telephone 03-6447-3000

5350823-JP